

様式4の2

令和5年度 学校運営協議会評価報告書2

鳥取県立境港総合技術高等学校

学校長 新 田 真 也

評 価 日	令和6年2月20日（火）
評 価・提 言	学校の所見・改善策
1 重点目標の達成状況について ・概ね良好 ・各方面と連携した活動ができています。 2 目標達成のための取組結果について ・地域の専門高校として各事業を有効に活用している。 ・ 3 具体目標の達成状況について ・資格取得など結果は出ているが、工業学科についてはPR不足ではないか。 4 目標達成のために取り組んだ具体方策について ・メルカリショップスなど新たな取り組みの成果が見られる。例えば機械科など他科の商品販売も行っているかどうか。 5 その他 ・プレスリリースの方法について、全国紙、全国系列の番組への露出が重要。 ・中学生に興味を持ってもらうのに、ショート動画など有効だと思われる。 ・小学校でも福祉科との交流の後は毎回楽しいと言っている。子どもたちが夢を見つけられるように語りの機会をつくりたい。 ・宿舎整備について	1 ・スマート教育、地元、県外の企業や高専との連携など様々な事業に取り組んだ。 2 ・継続して取り組むとともに、各科が連携して取り組める事業として、キッチンカーの導入を進める。 3 ・イメージ戦略が重要であることは理解している。見える化を進める。また、コロナ禍で止まっていた活動を再開し、積極的にPRしていく。 4 ・ネットとリアルの融合ということで、ダイヤモンドプリンセス寄港の際にはALTの協力のもと準備をして、海外のお客様にも実習製品を販売し、好評を得た。 5 ・継続して学校の教育活動を発信していきたい。SNSだけでなく、対面での交流も通して魅力を伝えたい。 ・小学生時代に本校との連携事業を経験したことで入学した生徒もある。本校の強みである専門分野を中心に、中学生も含め、小学生時代から様々な分野で生徒同士の交流学习を実施し、入学者の増加につなげたい。 ・ヤシャゴベースに1名分宿舎を確保できた。